

🏠 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	1040.90	2023/04/17
High	1130.00	2023/04/21
Low	1035.00	2023/04/17
Close	1124.00	2023/04/21

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4496.00	2023/04/17
High	4870.00	2023/04/21
Low	4476.00	2023/04/17
Close	4863.00	2023/04/21

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1501.39	2023/04/17
High	1643.00	2023/04/18
Low	1484.00	2023/04/17
Close	1602.00	2023/04/21

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6463.00	2023/04/17
High	7080.00	2023/04/18
Low	6391.00	2023/04/17
Close	6910.00	2023/04/21

📄 ニュースエクスプレス

南アフリカの電力問題、PGM 生産に圧力

ロジウム価格の動きがプラチナ鉱山会社合併に影響 ノーザム・プラチナムは Royal Bafokeng Platinum (RBP)の買収オファーを取りやめたが、その理由として PGM 価格が動き、大きく状況が変わったためとしている。ロジウムが12日間連続で 5000ドル/オンスを割っていること、さらに南アフリカのバスケット価格も12日間連続で3万3000ランドを割っていることをあげた。

これにより、インバラ・プラチナムが RBPの最大株主として、既に提示済みの条件で買収を進めることが可能になる。先週末の時点で インバラ・プラチナムはRBP 株の約 44.5%を保有しており、RBPの資産運営を引き継ぐとすれば、粗鉱物の鉱区の鉱山寿命を伸ばすことが可能となり、長期的にPGM 生産を広げ、また自社の鉱山運営との合併で費用の節約を達成できるだろう。鉱業権の移行は一時的な PGM 生産には影響しないと思われる。

南アフリカの電力問題がプラチナ価格に影響するか？ 悪化を続けるエスコムの電力供給の問題は弱体化する南アフリカ経済に追い打ちをかけ、南アフリカへの投資はリスクが高いという見方が強まり、リスク回避が強まる世界の金融市場では、今週のランドはドルに対して下がった。その上さらにコモディティの輸出の見通しも明るくない。国際通貨基金 (IMF) は先週、世界経済の5ヵ年成長予測を発表したが、2028年までは年間約3%で、1990年来最低の成長率となる。先週のランドは強相場となって、プラチナ価格を1月以来の高値に押し上げたが、上記の理由からランドはドルに対して再び下がる可能性がある。プラチナ価格と、ランドの対ドル為替は強い反比例の関係があるため、昨今の 1000ドル/オンス を超える上昇機運は近いうちに消滅するかもしれない。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/dcc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230417.pdf#modynttrid=plAVY-0958P5Pa-ecBra4WDk3AHRP7VA2iC3iJp4qw

プラチナ・ナノクラスターで燃料電池を高性能に

東京理科大学の研究者らは、固体高分子形燃料電池に使われるプラチナ触媒の性能を高める可能性のあるプラチナ・ナノクラスター担持触媒の創出に成功した。

国際学術誌「Nanoscale」に発表された研究成果によると、固体高分子形燃料電池は環境負荷の少ないエネルギーを作り出すことができるが、プラチナを大量に使用するため製造コストや運転コストがかかることが懸念されてきた。材料としてのプラチナは高価である上に生産量が少なく、固体高分子燃料電池を真に持続可能な手段とするには、プラチナの使用量を削減することが重要な課題とされてきた。

現在、固体高分子形燃料電池はプラチナ・ナノ粒子をカーボンブラックに担持させたプラチナ・ナノ粒子触媒を正極に使うが、本研究ではプラチナ・ナノ粒子よりも小さなプラチナ・ナノクラスターを使う方が優れた触媒活性があり、高性能であることを明らかにした。

さらに根岸雄一教授らの共同研究グループは、新たに合成したプラチナ・ナノクラスターの触媒活性は市販のプラチナ・ナノ粒子触媒よりも2.1倍高いことを実証し、その理由も明らかにした。

<https://www.mining.com/platinum-nanoclusters-improve-fuel-cell-performance/>

Translated by Kazuko OSAWA

📣 WPIC直近の活動

- アースデイ2023を迎える中、エネルギー転換の重要な遷移金属として、脱炭素化におけるプラチナの役割が注目されている。プロトン交換膜 (PEM) 技術は、電解槽での水素生成および水素燃料電池での水素からの電気生成という2つの重要なアプリケーションでプラチナ触媒を使用。PEM 電解槽は再生可能エネルギーからカーボンフリーのグリーン水素を生成するが、燃料電池電気自動車(FCEV) は水素燃料電池の主要な市場である。 FCEV がグリーン水素で駆動されると、完全に排出ガスゼロの輸送が提供可能に。詳しくはプラチナ豆知識「アースデイ2023—遷移金属」(2023年4月19日)をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/04/19?page=1&term=&category=>



@wpiicjapan

免責事項: 本報は情報提供に過ぎず、wpiicの投資勧誘を意図するものではありません。また、そのように解釈されるべきではありません。